

Ai愛労連

愛知県労働組合総連合
名古屋市熱田区沢下町9-7
労働会館東館3F
TEL 052-871-5433
FAX 052-871-5618
URL <http://wwwairoren.gr.jp>
337 2021年8月号
発行人 知崎 広二

原水爆禁止2021年世界大会

- ①国際会議 8月2日(月)10:00開会
 - ②広島大会 8月6日(金)10:00開会
 - ③長崎大会 8月9日(月休)10:00開会
- ※完全オンラインで開催。労働会館でも試聴会が開催されます。詳しくは愛労連まで。

最賃上げよう

全国一律1500円の実現で

誰もが普通に暮らせる賃金に

最低賃金の大幅引き上げを求めるたたかいの山場を迎えます。7月中旬に中央審議会が全国の最賃改定の目安金額を示す見通しで、その目安を基に都道府県ごとに審議がおこなわれ、今年10月の最賃改定額が決まります。愛労連では愛知地方最低賃金審議会に対し1500円への引き上げと中小企業支援策の実施を求めた署名、街頭宣伝などを精力的におこない、コロナ禍だからこそ大幅引き上げを求めとりくみを強めています。8時間働けば誰もが普通に暮らせる賃金の実現へ。この1ヶ月が山場です。



私たちの運動が審議会に変化を
愛労連は6月30日、愛知労働局へ最賃1500円の実現や審議会での意見陳述を求める「愛労連署名」8000筆と「審議会開催にあたっての要請書」を提出しました。署名は後日提出表委員から資料に基づく部分と合わせて1万筆となつ

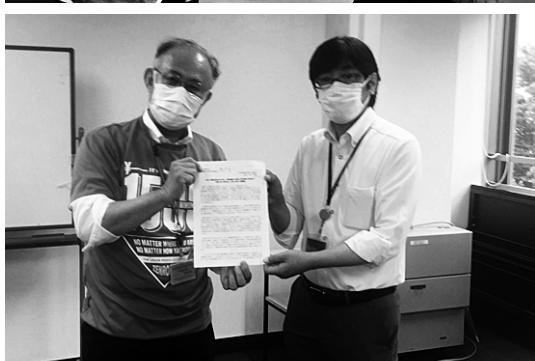
規労働者の実態からの引き上げの必要性などについて発言されました。このような発言は過去に見られず、新たな変化をつくり出しています。

最賃ビッグアクションを実施。最賃1500円を訴える横断幕が通行人の目を引いて、「1500円になつたらいね」といった反応が多く見られました。歌や音楽もあり、署名やシールアンケートには多くの若者が応じてくれました。

おこない①最賃1500円の実現、②審議会で最賃額の影響を直接受ける非正規労働者の意見陳述実施、③愛知県における最賃1500円への引き上げの地域経済効果試算についての3点を訴えました。



7月7日の県政記者クラブでの記者会見



7月1日には、最賃審議会が開かれ、提出された署名が愛労連からの要請書とともに紹介されました。この日の審議会では労働者代表の報告が多くありました。



④6月30日、愛知労働局・賃金課に愛労連署名8000筆提出。⑤7月5日、全労連東海北陸ブロック最賃キャラバンで愛知労働局に要請。⑥7月6日、名古屋駅での最賃ビッグアクション。シールアンケートでは「最賃はいくらがいいか?」の問い合わせに「1500円」「(1500円よりも)もっと高く」の回答が多くかった

規労働者の実態からの引き上げの必要性などについて発言されました。このような発言は過去に見られず、新たな変化をつくり出しています。

最賃ビッグアクションを実施。最賃1500円を訴える横断幕が通行人の目を引いて、「1500円になつたらいね」といった反応が多く見られました。歌や音楽もあり、署名やシールアンケートには多くの若者が応じてくれました。

おこない①最賃1500円の実現、②審議会で最賃額の影響を直接受ける非正規労働者の意見陳述実施、③愛知県における最賃1500円への引き上げの地域経済効果試算についての3点を訴えました。

愛労連は6月19日に労働会館東館ホールとリモートを併用し、2021年度第2回評議員会を開催しました。単産・地域から38人の評議員が参加し、夏季闘争方針、7月18日に開催される第64回定期大会にむけての議案などを提案・採択しました。議案の提案では竹内事務局長代行からこの間の情勢や21国民春闘の到達点などが報告されました。また、地域運動の強化についても意見が出され、今後議論していくことになりました。



コロナ禍克服へたたかい進めよう

愛労連第2回評議員会を開催し、夏季闘争方針を決定

こうむ 7月に入つても、連日のように医療・介護従事者の「オリンピックよりコロナ対策を」の声が街から聞こえる。また、新聞には毎日、コロナ感染者と死亡者の数が掲載され続けられている▼こんな中、菅内閣は相も変わらず、感染防止対策も不十分で「マン防」だ、「緊急事態」との掛け声だけを繰り返し、その上、説教調に、「マスクを付けよ」「お酒はダメ、会食だけ」「マスクを付けよ」などのが報告されました。

た。そしてこの夏のたたかいとして、コロナ禍のかいのちと暮らしを守ること、人労・一時金、最賃をめぐるたたかいについての提案がされました。討論では、提案を補強するようなコロナ禍の各職場の状況やとりくみなどの報告が多くありました。また、地域運動の強化についても意見が出され、今後議論していくことになりました。

7月4日のラジオで、菅首相は、オリンピックを意識してか、頬みのワクチン接種について「高齢者には7月末には完了可能」と発言。連日報道される新聞を見ているのかと疑う。7月5日の新聞は、高齢者のワクチン接種率(1回目、65.1%、2回目33%)と伝えているというのに、どんな魔法の計算式を用いているのか聞きたいものだ▼その上、第5波ともいわれる感染拡大状況を指摘する専門家の意見に対しては、「頼んでもいない見解は、その人の個人研究にすぎない」と切り捨てる官房長官の傲慢さも目に余る。「安全・安心の五輪」は私の責任でこぎつけるが、開催しないといふ権限は私にはない」とまではいう。どこの国の首相かと疑うことばかりの日々だ。(丹)

